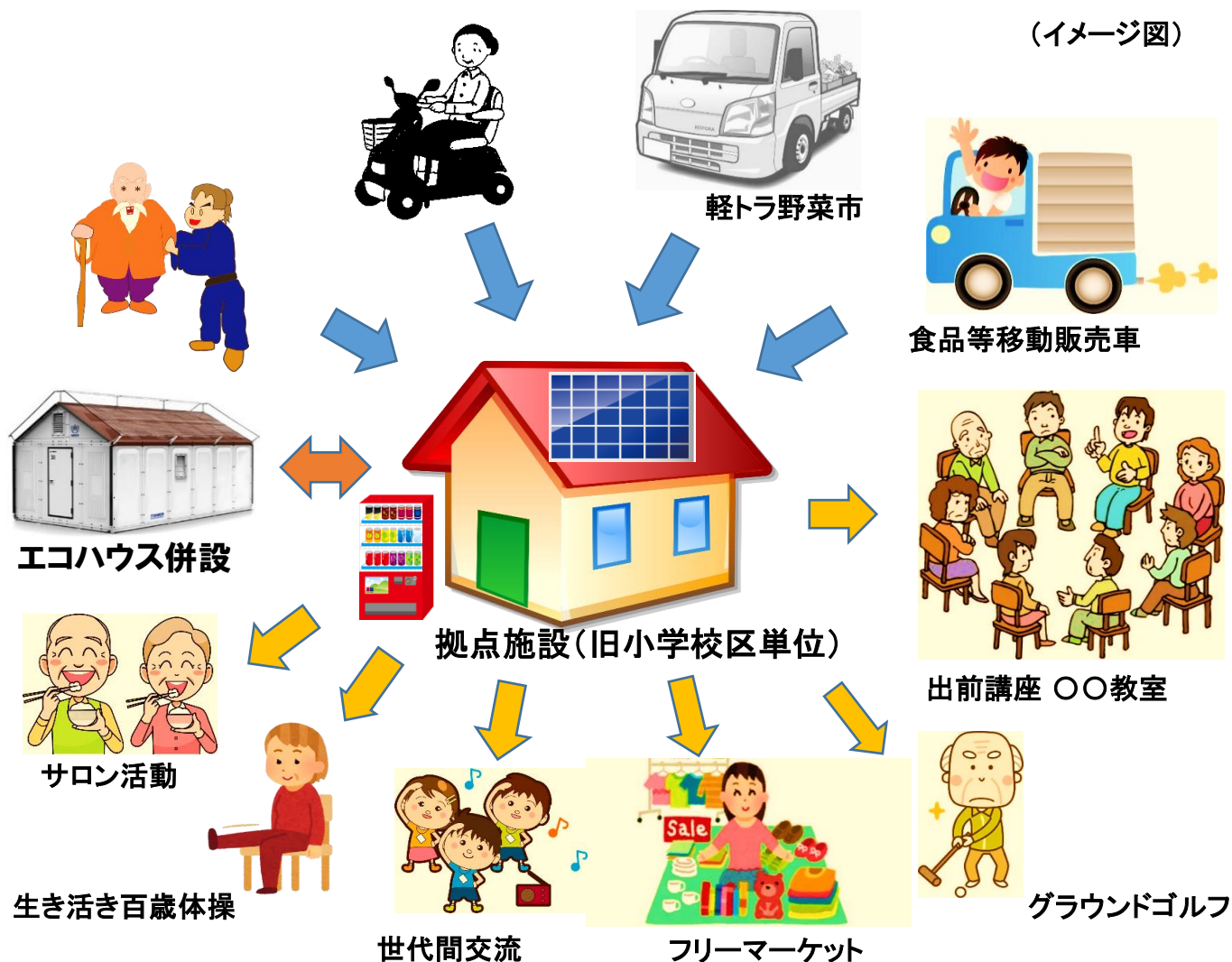


# 緊急課題として取り組んでいます

(発行:2019年号外)  
三和協働支援センター  
☎ 0847-85-3399

## 拠点施設を核に10年後も安心して暮らせる町づくり

(イメージ図)



### 1. 目的

- ① 急激な人口減少と高齢化に対応した安全なまちづくりを推進
- ② 周辺地域の生活用品、食料品などの買い物の支援
- ③ 自家用自動車が使えなくなった場合の外出支援
- ④ 地域のサロン活動や生き活き百歳体操の推進
- ⑤ 余剰農産物等の販売による地域の活性化
- ⑥ エコハウスを併設し、資源ごみの集積と販売で自治会の原資の確保

### 2. 支援センターの役割

- ① 拠点施設の整備 (災害時に対応した太陽光パネル・蓄電装置など)
- ② エコハウスの設置の助成と支援
- ③ シニアカーの安全講習会の実施
- ④ 移動販売の業者依頼及び調整
- ⑤ 出前講座など「○○教室」の開催の支援

### 3. その他

- ① 移動販売は週1回○曜日とし、11時から13時までを基本に開店
- ② フリーマーケットでの販売は地元自治会長の許可を得た者

## 【取り組みの背景】

### 1. 1人～2人暮らしの増加

昨年実施しましたアンケート調査の回収は60%を超えました。

その中で、70歳以上で一人暮らし世帯は10.7%。また、二人暮らしで共に70歳以上の世帯は13.1%で、合わせると23.8%になります。おおよそ4世帯の内の1世帯が、そうした高齢者の一人又は二人暮らし世帯になってきているといえます。

### 2. 急激な人口減少

さらに、人口の減少について、10年前の神石高原町で比較してみると、今年2月の時点で2,331人減少して9,076人になりました。

これを言い換えれば、その10年前の神石地区の人口が2,577人でしたから、まさに一つの町を失ったほどの減少です。

### 3. 地域で見守り支え合い

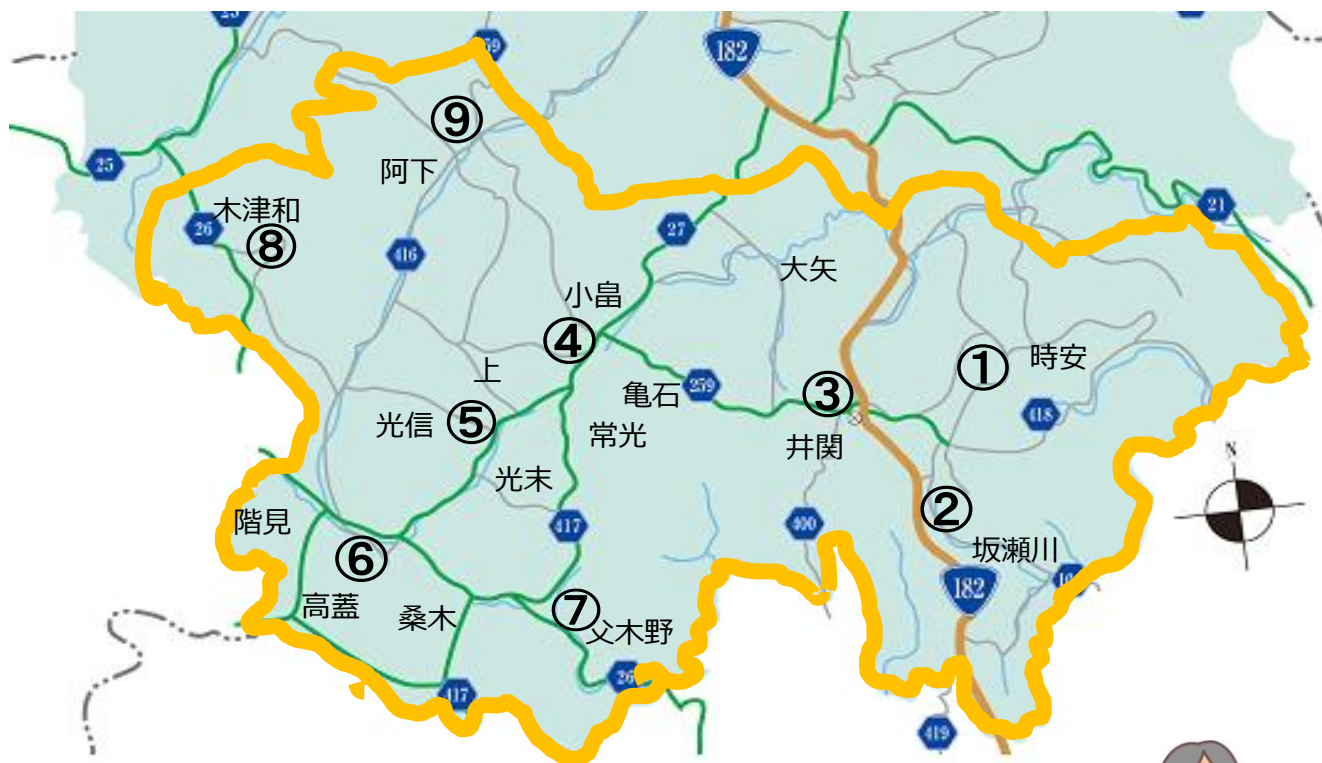
こうした状況にあるからこそ、自分たちの10年後も安心して暮らせる町、地域で見守り支え合える仕組みづくりを、今みんなで考えることが必要になってきています。

## 【三和地域の拠点施設とその位置図】

⑥	さんわ総合センター
⑦	父木野総合会館
⑧	木津和振興会館

④	三和協働支援センター
⑤	上 社会教育施設
⑨	阿下ふれあい会館

①	時安文化センター
②	坂瀬川区民会館
③	来見ふれあいプラザ



※この拠点施設のほかに、食料品等の移動販売車に立ち寄って欲しい、地域の集会所などがありますか？

ありましたら、班長さんを通じて自治会長さんへ7月末までにお伝えください。販売事業者さんと協議をはじめます。

